

令和3年度 カーサマリモ 事業報告

1 総 括

今年度は、令和2年11月に事業変更による共同生活援助13床・併設型短期入所1床で再出発し、令和3年2月までには共同生活援助13床満床となりましたが、5月には長期入院を経ての退所者が1名ありました。この間、新型コロナウイルス感染拡大による感染防止として、面談や面会に関する制限及び見学等の受け入れの制限もあり、新規入居者の選定や新規短期入所利用者の掘り起こし等が難しい状態でしたが、12月に共同生活援助新規入居者を迎えることができました。

短期入所では、近隣の相談支援事業所と連携し制限のある中で新規利用者の獲得のための面談や見学等を行いました。利用まで進まず、緊急での長期利用者も3件にとどまり新規利用者リピーターの獲得まで至っておりません。

職員体制においては、新型コロナウイルス厚接触者等の疑いによる自宅待機やその他感染症による病休、労災による療養及び3名の夜勤専従非常勤職員の退職があり、シフト維持に力を注ぐ形となってしまいました。また、喜望園異動予定職員3名がカーサマリモからとなり、職員配置を検討しなおし、日勤帯での非常勤職員や夜勤専従職員の積極的な採用を進めながら、これまでの職員体制や情報共有を含めた職場風土の刷新を進める取り組みが次年度の課題となりました。

2 重点目標の取り組みと来期の課題

1) 提供するサービス

① 地域移行を見据えた支援

法人内施設利用者の個別支援計画から地域移行に関する意向を把握します。

【目標】

法人内施設と連携し、ご利用者の個別支援計画から地域移行のニーズを把握してグループホームの短期入所体験等を提案し実施します。

【取り組み】

コロナ禍も重なり地域移行の希望があるご利用者の短期入所体験は実施できませんでした。

2) 人材育成

② 資格取得

強度行動障害支援者実践研修受講修了者1名

【目標】

重度障害者加算取得のために強度行動障害支援者実践研修修了者を1名派遣します。

【取り組み】

重度障害者加算の対象利用者が退所したため強度行動障害者支援者実務者研修は未受講でした。

② 法人理念研修

まりも会の法人理念を学びます。

【目標】

まりも会における社会福祉従事者の基本的な姿勢として、法人理念を学び実践します。

【取り組み】

新規職員 1 名が理事長による法人理念研修を受講しました。
ましても会の沿革や理念を再確認した上で、法人理念を踏まえた運営方針を取りまとめました。

【取り組みの結果】

運営方針を取りまとめたことにより、新規職員へのオリエンテーション時の説明や職員間での共通認識の意識が高まり、運営の方向性の可視化が出来ました。

3) 地域連携

(ア) 施設の専門性・設備の提供

地域にグループホームを案内・紹介するようなイベントの検討を行い開催します。

【目標】

グループホーム利用者の通所先も含めて、地域にグループホームの存在や機能等を実際に見ていただき、利用者の生活状況を感じていただく発信をグループホームから行っていくことにより、地域の障害者や関係機関との連携を図ります。

【取り組み】

見学希望があった場合は積極的に実施いたしましたが、コロナ禍もあり地域との繋がりづくりは実施できませんでした。

4) 財政健全化

① 支援費報酬等の増加

利用率目標 95%、重度加算取得検討、医療連携体制加算の取得検討、体制強化支援等補助金取得

【目標】

共同生活援助、短期入所ともに利用率 95%を目指し、加算及び補助金取得により収支の安定を図ります。

【取り組み】

共同生活援助は 1 名退所、1 名入所で長期入院(1 ヶ月以上)が 2 名となり、年間稼働率は 90.1% でした。短期入所は新規利用が 2 名(内ロング利用が 2 名)、リピーター利用が 3 名となり、年間稼働率は 48.8% でした。新たに創設されたグループホーム体制強化支援事業補助金により 579,330 円増収となりました。

【取り組みの結果】

稼働率の未達成及び職員配置の正規職員雇用率が高いこともあり、今年度の事業活動収入が約 7600 万円、事業活動支出が約 8200 万円となり事業活動収支差額は約△600 万円となりました。次年度は稼働率達成のために計画的なご利用者の受入及び正規職員の雇用率の引き下げを行い収支の安定化を図ります。

5) その他

① グループホーム利用者の日中支援について

グループホーム利用者の日中支援を検討し提供します。

【目標】

グループホーム利用者の日中支援について、どのような支援なら提供できるのか、どのような職員配置なら可能なのか、どのような機関と連携すれば可能なのかを検討し提供します。

【取り組み】

ご利用者 2 名の日中系サービスの利用に繋げることが出来ました。カーサマリモでの土曜日曜日の日中帯の支援充実のため、パート職員の雇用を図りました。

【取り組みの結果】

日中系サービスの利用により、外出の機会が増え日中活動の選択肢が増えました。パート職員の雇用の増員を図りましたがコロナウィルス感染症や職員の異動・退職が重なり外出支援等の充実は次年度の取り組み課題となりました。

3 申出のあった苦情の対応

申立月	苦情の内容	対応と結果
10 月	コールにて長時間待たされた	コールを押したが 1 時間 30 分対応に来なかった。当該職員に事実確認を行い、当該職員から御本人への説明と謝罪を行った。コールを長時間待たされたのは本件がはじめてでそれ以降、コールを長時間待たされることはなく、改善されたと御本人より言葉をいただいています。

4 発生した事故の内容

種別	件数	摘 要
重大事故	2 件	<p>(事故の概要)</p> <p>1 転倒事故 (4 月 29 日) 起床時、ベッド上で態勢を崩し、ベッドの端に口元をぶつけ出血してしまった。 対策：起床時にコールを押していただき支援者が起き上がりの見守りを行う。ベッドの端に緩衝材を張る。</p> <p>2 服薬事故 (8 月 16 日) 日曜日の起床時のみに服用する薬を失念してしまった。 対策：服薬カレンダーの朝食時と一緒に起床時をセットしていたが、服薬カレンダーより起床時の薬袋のみ落下してしまい落下に気づかず服薬の失念となってしまった。今まで朝食・昼食・夕食・就寝時であった服薬カレンダーに起床時の欄を設け、日曜日のみ起床時薬があることを目視できるよう当該日にマークを設けた。</p>

5 職員体制 (令和 3 年 3 月 31 日)

職種	所長	サービス管理責任者	生活支援員	世話人	計
職員数	1	1 (所長兼務)	14	3	18
内常勤	1	(1)	5	3	9
常勤換算	1	(1)	10.9	3	14.9

6 研修の実施状況

1) 施設内研修

研修テーマ	内容	講師	参加職種	延人員
法人研修	法人理念	理事長	生活支援員	1名
法人研修	苦情・相談・事故等発生時の対応	事務局長	所長	1名
法人研修	コンプライアンス	大迫正晴	所長	1名
法人研修	リーダーシップ研修		所長	1名
法人研修	医療的ケア研修		所長	1名

2) 施設外研修

研修名	主催	参加職種	人員
虐待防止研修	東京都	所長	1名
グループホーム従事者研修	東京都	生活支援員	1名
財務マネジメント研修	東社協	所長	1名

7 サービス単位ごとの年間利用者延べ総数

区分	利用者延べ数
共同生活援助	4,285人
短期入所	178人

8 行事・見学の実施状況

実施月日	行事名	実施場所	参加者			
			利用者	職員	その他	計
4月11日	BBQ大会	カーサマリモ	12名	6名		18名
5月18日	品川区福祉事務所見学	カーサマリモ			2名	2名
8月28日	防災訓練	カーサマリモ	12名	4名		16名
11月1日	港区福祉事務所見学	カーサマリモ			2名	2名
11月2日	GH入居希望者見学	カーサマリモ			3名	3名
11月29日	短期入所利用希望者	カーサマリモ			2名	2名
12月24日	クリスマス会	カーサマリモ	12名	5名		17名